

# 第4回 市民講座

## 第1部 (60分)

### 「ブルーカーボンで切り開く浜の未来 ～海草・海藻による炭素吸収の可能性～」

気候変動対策が急務になるなか、藻場などの沿岸生態系の“ブルーカーボン”が注目されています。アマモに代表される海草、ワカメやコンブなどの海藻は、沿岸における炭素吸収源（ブルーカーボン）です。今回の講演では、“ブルーカーボン”に着目し、漁業者、漁協や地域が主体となった藻場の再生やカーボンクレジットの創出といった取り組みを紹介し、気候変動対策、生物多様性、豊かな海づくりとブルーカーボンの関係性を説明します。

講師：農林中金総合研究所 理事研究員 高島 浩氏

## 第2部 (60分)

### 「食品の安全性確保 ～いただきますを忘れずに～」

人間は生物を食べています。より安全な食生活を送るためには、過去の失敗から教訓を得ることも必要です。わが国は、世界各地から食料を輸入しています。食料の一次生産から食事の準備まで、分業で行われて、多くの人々が関わりを持っています。法律や制度が整備されても、人間の心がけに問題があれば、楽しい食生活を続けることは困難です。「いただきます」を忘れずに、清潔なフードチェーン（食品供給工程）を次の世代に渡す努力を心がけましょう。

講師：一般財団法人 日本食品分析センター 学術顧問 一色 賢司氏

#### ■講師紹介

◇農林中金総合研究所 理事研究員 高島 浩氏

1984年に京都大学経済学部を卒業し、農林中央金庫に勤務。カーネギーメロン大学ビジネススクール卒業。農林中央金庫においては、リスク管理他の業務に携わり、ロンドン支店長、為替管理部長後、2014年に株式会社農林中金総合研究所に転籍。サステナビリティ・国際金融規制等を調査。論文に「気候変動対応の進展状況と生物多様性への応用～目標を設定し、リスクを測定、管理できるのか～」『金融・資本市場リサーチ』第3号（2021）などがある。

◇一般財団法人 日本食品分析センター 学術顧問・北海道大学名誉教授 一色 賢司氏

1975年に九州大学大学院農学研究科修士課程を修了し、北九州市環境衛生研究所に勤務。1990年に農林水産省食品総合研究所に転職。1997～2004年は、お茶の水女子大学大学院教授を併任。2003年の内閣府食品安全委員会発足時に事務局次長拝命。2006年に北海道大学大学院水産科学研究院教授に転職。2013～2020年は、放送大学客員教授を併任。2014年に北海道大学定年退職。著書に「食品衛生学、第2版」（編著、東京化学同人、2019年）などがある。



日 時：2023年1月17日（火） 13:30～16:30（13:00開場）

会 場：九州大学 西新プラザ（福岡市早良区西新2-16-23）大会議室AB

TEL：092-831-8104（会場への公演に関するお問い合わせはご遠慮ください）

定 員：150名 先着順・入場無料

主 催：九州大学 大学院農学研究科 生命機能科学部門 食品免疫機能分析学寄附講座

申込方法：メール又はFAXに郵便番号、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを記載し、申込先宛にお申し込みください。同伴者がいる場合は、人数及び同伴者氏名を明記してください。

申 込 先：九州大学 大学院農学研究科 生命機能科学部門 食品免疫機能分析学寄附講座

E-Mail：kouza2022@agr.kyushu-u.ac.jp / FAX：092-802-4778